

みやぎ生協

● 親子防災ワークショップ「ひみつきちをつくろう！」

みやぎ生協では、東日本大震災の状況や、防災・減災を親子で学ぶワークショップ「ひみつきちをつくろう！」を、11月21日（土）仙台市若林区の海岸公園冒険広場で開催しました。

コロナ禍のため定員を10組と縮小しましたが、34組と多くのご家族から申し込みがあり、当日は9組25人の親子が参加しました。災害時に身近なもので身を守れるよう、簡易テントの作り方や火おこしなどを体験したほか、ローリングストックで

の備蓄のしかたを学びました。

午後のオプション企画では、海岸公園冒険広場のスタッフから震災当時のお話を聞いた後、「震災遺構・仙台市立荒浜小学校」を見学しました。

参加者からは、「マッチを使うのは初めてで、火がついた時はとてもうれしかった」「東日本大震災を知らない子どもたちと、親子で防災を考えるいい機会になりました」などの感想が寄せられました。

（生活文化部 森浩子）



火おこし体験の様子



簡易テントづくりの様子

● 「古今東北」ブランド ～あしたへつなぐ おいしい東北 美味しさを復興の力に～

「古今東北」ブランドは、2015年から発売を開始しました。「古今東北」ブランドの理念は、「震災復興への貢献」「東北の地域経済活性化への貢献」です。現在は商品開発も進み、販路拡大やPR活動を進めています。（11月現在211品目）

今年は協定書を結んでいる宮城学院女子大学でも、新型コロナウイルスの影響でリモート授業が多くなり、ゼミを行うことができずでした。そこで大学では「古今東北」商品を使った「MG おうちで COCON」レシピコンテストを開催しました。

約40人の学生から応募があり、優秀賞の学生を表彰しました。

コラボ企画としては、11月14日（土）にマイナビベガルタ仙台レディースの試合会場で、マイナビベガルタオリジナルトートバックの中に「古今東北」商品を詰め合わせ、販売しました。

また、月1回開催しているショップ&ワンダーアエルでの「古今東北」の催事も、5月だけは中止になりましたが、継続して開催しました。東日本放送の「ナマイキTV」の取材もあり、放送を見た多くの方に来店していただきました。

（株）東北協同事業開発

取締役営業部長 丹野潤一

レシピコンテスト優秀賞作品



彩野菜と
いぶりがっこの
バリバリピザ

古今東北のいぶりがっこを使用



鯖らしい
(すばらしい)
万能トマト煮

古今東北のさば水煮缶と元祖あぶらぶを使用



テレビ取材の様子

商品説明をする「古今東北」の高橋朋子さん（左）

アエル催事では、「古今東北」商品の他に、復興グッズ等の販売も行い好評でした。